



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月7日

上場会社名 堺商事株式会社
 コード番号 9967 URL <https://www.sakaitrading.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 赤水 宏次
 (氏名) 川原 章
 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 TEL 06-7166-6180

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,288	2.6	347	6.6	301	14.9	202	3.8
2019年3月期第2四半期	19,775	13.1	325	108.9	354	181.3	210	146.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 163百万円 (20.5%) 2019年3月期第2四半期 205百万円 (82.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	111.79	
2019年3月期第2四半期	116.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,378	7,753	42.8
2019年3月期	18,047	7,644	40.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,430百万円 2019年3月期 7,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		30.00	50.00
2020年3月期		25.00			
2020年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	1.2	520	21.8	490	25.9	310	21.0	170.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	2,000,000 株	2019年3月期	2,000,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	186,850 株	2019年3月期	186,850 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	1,813,150 株	2019年3月期2Q	1,813,215 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、個人消費や設備投資が増加傾向で推移するなど、緩やかな回復が続いておりますが、米中の貿易摩擦問題や英国のEU離脱をはじめとした海外経済の不確実性への懸念などにより製造業を中心とした景気の足踏み感が進行しており、その先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、このような状況のもと、積極的な営業活動や販売効率の改善、海外事業戦略の強化に取り組みました。その結果、売上高につきましては、前第2四半期連結累計期間に比べ増収となりました。主な商品群の内訳は、次の通りであります。

・電子材料事業

電子材料については、コンデンサー材料の一部が伸び悩みましたが、通信機器および電子機器向けの部材等が堅調に推移したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は前第2四半期連結累計期間に比べ8.8%増の4,947百万円となりました。

・環境・機能材料事業

環境・機能材料については、国内向けバリウム中間体が伸長したものの、酸化チタンや中国向け触媒が減少したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は前第2四半期連結累計期間に比べ0.9%減の10,616百万円となりました。

・衛生・産業材料事業

衛生・産業材料については、国内向けの衛生部材が好調に推移したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は前第2四半期連結累計期間に比べ4.6%増の4,724百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べ2.6%増の20,288百万円となりました。

また、営業利益におきましては、売上増加に伴う売上総利益の改善などにより、前第2四半期連結累計期間に比べ6.6%増の347百万円となりました。

一方、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益におきましては、円高による為替収支が悪化したことにより、経常利益は14.9%減の301百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は3.8%減の202百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ668百万円減少して、17,378百万円となりました。減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が635百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ778百万円減少して、9,624百万円となりました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金が600百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ109百万円増加して、7,753百万円となりました。増加の主な要因は、利益剰余金が148百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、わが国経済は、海外諸国の政治・経済動向や貿易摩擦への懸念、消費税増後の個人消費への影響や企業の景況感の悪化など不透明な要因を多く抱えていること等により、引き続き予断を許さない状況が続くものと思われまます。

このような状況の下、当社グループは2019年3月20日に2020年3月期から2024年3月期を対象とする中期経営計画を公表し、

- ① 世界市場に広く展開し持続的に発展するグローバル企業を目指す
- ② 社員が働き甲斐を感じ安心して働ける職場環境づくりを推進する
- ③ 取引先様から信頼を集める化学品商社となる

の3点をビジョンとして掲げ、その実現に向けて様々な施策に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間については、前回予想に比して、環境・機能材料および衛生・産業材料の業績が順調に推移したこと等を主要因として当初予想を上回るペースで進捗いたしました。よって、第2四半期連結業績予想につきましては、2019年10月31日に、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益について、上方修正を行いました。

一方で、通期連結業績予想につきましては、米中貿易問題等による需要の落ち込み等を主要因として、電子材料市場の先行き不透明感が増大しておりますことから、通期連結業績は当初の予想に概ね収束していくと現状では判断しております。よって、通期連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,599,247	2,708,203
受取手形及び売掛金	9,139,545	8,503,669
電子記録債権	1,635,603	1,627,289
商品及び製品	1,794,678	1,842,522
仕掛品	4,950	12,741
原材料	109,346	81,398
その他	164,299	172,494
貸倒引当金	△12,030	△12,151
流動資産合計	15,435,640	14,936,168
固定資産		
有形固定資産	1,895,443	1,783,763
無形固定資産	130,228	113,653
投資その他の資産		
その他	615,088	573,877
貸倒引当金	△29,159	△29,097
投資その他の資産合計	585,929	544,779
固定資産合計	2,611,602	2,442,196
資産合計	18,047,242	17,378,364
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,911,710	7,311,583
短期借入金	1,744,431	1,683,669
未払法人税等	161,869	87,502
引当金	108,327	109,648
その他	246,400	269,589
流動負債合計	10,172,740	9,461,994
固定負債		
長期借入金	118,928	57,744
退職給付に係る負債	14,553	16,028
その他	96,886	89,097
固定負債合計	230,367	162,870
負債合計	10,403,107	9,624,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,000	820,000
資本剰余金	697,471	697,471
利益剰余金	5,692,959	5,841,249
自己株式	△189,378	△189,378
株主資本合計	7,021,052	7,169,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,334	135,329
繰延ヘッジ損益	△6	1,780
為替換算調整勘定	144,198	123,764
その他の包括利益累計額合計	307,526	260,874
非支配株主持分	315,555	323,282
純資産合計	7,644,134	7,753,500
負債純資産合計	18,047,242	17,378,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	19,775,852	20,288,275
売上原価	18,379,287	18,866,601
売上総利益	1,396,564	1,421,674
販売費及び一般管理費	1,070,745	1,074,261
営業利益	325,819	347,412
営業外収益		
受取利息	2,528	4,335
受取配当金	6,291	6,679
為替差益	42,809	—
その他	3,479	2,491
営業外収益合計	55,108	13,507
営業外費用		
支払利息	8,587	9,998
支払保証料	5,185	3,103
売上割引	6,855	6,533
為替差損	—	37,854
その他	5,681	1,627
営業外費用合計	26,311	59,117
経常利益	354,616	301,803
特別損失		
関係会社整理損失引当金繰入額	14,124	—
特別損失合計	14,124	—
税金等調整前四半期純利益	340,492	301,803
法人税等	108,222	81,628
四半期純利益	232,270	220,175
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,623	17,491
親会社株主に帰属する四半期純利益	210,646	202,684

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	232,270	220,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,672	△28,005
繰延ヘッジ損益	6,312	1,787
為替換算調整勘定	△50,272	△30,197
その他の包括利益合計	△26,287	△56,415
四半期包括利益	205,982	163,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189,594	156,032
非支配株主に係る四半期包括利益	16,388	7,727

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。